

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 22 年 4 月 28 日

審査機関名 シー・アイ・ジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	「元気くらぶ伊都」におけるバイオマスボイラー転換による CO2 削減事業
承認番号	JCDM-PJ0101
排出削減事業者名	大宝電気株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社西日本シティ銀行
事業実施場所	福岡県糸島市泊かつらぎ 765
事業の概要	本事業は、スポーツ健康施設の冷暖房・給湯・加温用熱源を LPG から木質チップに転換する事により燃料コスト削減と同時に排出削減を図るものである。
排出削減量の計画	513tCO2/年（事業実施期間合計 2,052tCO2）
国内クレジット 認証期間	事業開始日 2009 年 3 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2009年3月1日～2010年3月31日（第1回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	644tCO <sub>2</sub> （2009年3月1日～2010年3月31日）
-------	--

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 排出削減事業計画通り、以下のように事業が開始されていることを確認した。 2009年3月1日 また、排出削減量の算定は、この開始日を基に適正に計算されている。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 バイオマスボイラーは実績確認の期間中継続的に稼働していることを、現地訪問・運転日報・関係者への質問等により確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) モニタリングの方法 現地訪問、運転日報閲覧、関係者への質問により、承認排出削減事業計画通りモニタリングが実施されていることを確認している。具体的には、ボイラー熱量、チップ投入量、に関する記録、購買伝票をそれぞれ担当者が保管している。なお、LPG使用量は積算熱量計からLPG使用量相当分を算定している。</p> <p>2) 活動量の正確性 本事業においては該当せず。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論（排出削減方法論について：別表）及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算</p>

	<p>定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>木質バイオマスについては、チップ工場から本事業所へ輸送した際の CO2 排出量が該当するが、本事業の排出削減量の 5% 未満であるためリーケージとしては考慮していないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象機関は 2009 年 3 月 1 日から 2010 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えていないことを確認している。</p>

#### 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績報告期間の実績確認の結果、承認排出削減計画からの変更点などは発生していないことを確認している。

#### 6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 272.3KL であることを確認した。

以上